※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語理解	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	アライブ国語常識（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「読む」「書く」「話す・聞く」等、多様な国語力を高めるための活動をします。
・単なる聴講に終わることなく、聞き書き、スピーチ、手紙文等々能動的活動を多く授業に取り入れる予定です。積極的に参加することで国語の楽しさや奥深さを習得しましょう。
・副教材の活用で基礎的な語彙の習得や文法事項等の決まりごとの確認を行います。

2　学習の到達目標

学びなおしで身につけた知識を土台として、進路に関係なく、社会人として求められる教養を深める。話したり書いたりする際の基本的な決まりごとを習得し、日常生活における常識的な表現ができるようにする。
・基礎的な語彙を学習し、知識の強化を図る。
・相手の話を傾聴し適切なコミュニケーション力を身につける。
・自分の意見をきちんと表現し、相手に伝える。
・思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	漢字検定４級配当の常用漢字を理解し、文章の中で適切に使用することができる。 幅広い語彙を身につけ、言語活動の中で適切に活用することができる。	名文とされる文章を読み、その読みの多様性を理解する。 簡単な創作に取り組み、適した方法で表現したり言葉の選択の妙を味わったりすることができる。 目的や場面に応じて、適切な言葉・態度で、何をどう伝えればよいかが判断できる。相手の言うことを的確に聞き、話し合ったりして、自分の考えを深めることができる。	様々な活動に積極的に参加し、自分の意見を述べたり、作品制作に取り組んだりすることができる。 課題に対し、自ら工夫し、伝えたいという気持ちをまず醸成する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	小説を読む ［教材］自主教材	a：文章の意味は文脈の中で構成されることを理解している。 b［　読　］：「読むこと」において、作品や文章の成立した時代背景やほかの作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 c：中学校の教科書から読みやすい小説を紹介し、その読みの多様性を再確認しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	名文を読む ［教材］自主教材	a：文章の意味は文脈の中で構成されることを理解している。 b［　読　］：「読むこと」において、名文とされる文章を味わい、表現の工夫や修辞を理解し、自分の視野を広げている。 c：進んで名文を鑑賞し、学習課題に沿って考察しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	意見文を書く ［教材］自主教材	a：正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んだり、修辞を使ったりしている。 b［　書　］：「書くこと」において、読み手にわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方に工夫している。 c：テーマに対して明確な意見を持ち、それを表現するための手法を学ぼうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	百人一首に親しむ ［教材］小倉百人一首 自主教材	a：百人一首の文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解している。 c：進んで作品内容を理解し、解釈しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	短歌を詠む ［教材］自主教材	a：短歌の文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　書　］：「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な材料を決め、表現したいことを明確にしている。 c：言葉の選択の妙を味わい、進んで短歌を創作しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	二次創作		作品	作品	作品 観察

※令和４年度以降入学生用

	［教材］自主教材	a：書き言葉の特徴をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 b［　書　］：「書くこと」において、元の作品の内容や構成を正しく理解したうえで、読み手に分かりやすいように文章の構成や展開、表現の仕方などを工夫している。 c：グループで童話や昔話の二次創作やスピンオフ作品について、学習課題に沿って創作しようとしている。			
	スピーチ ［教材］自主教材	a：話し言葉の特徴をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ｂ［　話／聞　］：「話すこと・聞くこと」においてスピーチで話す内容を集め、伝えたいことを明確にして、話の構成や展開を工夫している。 c：パワーポイントを用いたスピーチをすることに意欲を持ち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。	パワーポイント	パワーポイント	発表

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　20　）時間

・読むこと　…　（　30　）時間